

市民との意見交換会・報告書

開催地区：城北地区	開催日時：令和4年11月16日（水） 18時00分 ～ 19時15分
担当班：第3班（出席議員）戸川稔朗、横山 淳、長郷潤一郎、高梨 浩、小畑 匠	
開催場所：城北コミュニティセンター	
参加人数：男性 4名、女性 1名、合計 5名（うち班外議員 0名）（他自治体等傍聴者 0名）	
会場の雰囲気、次回に向けての反省点、申し送り事項など	
1. 意見交換の総括	
(1) 議会報告、市政全般についての総括	
① 城北地区のまちづくりに向けた課題について	
・通学路の歩道除雪を通学時間前までに行ってほしいとの要望に対する話し合いがなされた。	
・幹Ⅰ－6号線の交通量が激増していて危険な状況にあるので、交通安全対策の必要性について意見交換した。	
・地域での水路の清掃が困難な状況にあるので、水路の整備を含め、行政対応についての意見をお聞きした。	
・スプレー缶のごみ出し時の方法について、いろんな角度からの問題提起がなされた。	
② 広報議会11月1日号について	
・通年議会における議員活動について、活動の状況を説明報告した。	
【その他の主な意見等】	
・意見交換会開催の周知や開催のあり方についての意見があった。	

○ 議会報告、市政全般について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
<p>通年議会が始まり、災害時等の対処など良い面が多くあると思うが、議員活動が忙しくなり大変な活動になるのではないか。</p>	<p>会津若松市の議員は、公務が第一と考えているので忙しい状況にある。その他にも議員は個人個人の政治活動も行っている。また、会津若松市議会はマニフェスト大賞もいただいております皆一生懸命活動している。</p>	●	①		議員活動
<p>通学路の除雪ですが、通学時間前に子どもたちが歩く歩道の除雪を終わらせて、子どもたちの交通安全の確保を図ってほしい。歩道の除雪が行われないと子どもたちは車道を歩くしかなくなるため危険である。</p>	<p>道路除雪は優先順位を決めて、優先度の高い順に除雪を実施している。病院や学校は優先順位が高いですが、狭い歩道に関しては、排雪をしながら除雪をしなければならないので時間を要するとの問題があると認識をしている。</p> <p>地区にも優先順位があると思うので、地区での優先順位を決めながら、有効な除雪を進めていきたいと考えている。</p> <p>雪道での通学路は本当に危険な状況があると思いますので、地区で対応の出来る仕組みづくりも重要と考えている。今後は地区の協働がなければ対応できないと思うので皆さんの協力をお願いしたい。</p>	○	①		雪害対策
<p>中町の野口英世青春通りの煉瓦が剥がれて破損しているが直すのか、直せないのですか。</p>	<p>車道の煉瓦造りは良くなかったことは行政も認識している。煉瓦の剥がれたところから順次アスファルトで補修して改修している。</p> <p>電気での融雪は出来ない状況にあるので、今は機械での除雪をしている。</p>	○	①		道路

○ 議会報告、市政全般について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
<p>幹 I - 6 号線の道路整備がなされ、交通量が増えスピードを出す車も多くなっている。危険を感じることもあるので、危険な状況無くすための対策を市や警察とで行ってほしい。また、幹 I - 6 号線の整備により荒久田地区の狭い道路にも多くの車が入ってきて、通学路などが危険な状況になっているので対応をしてほしい。</p>	<p>会津若松駅の踏切整備により、荒久田からの車の流れが多くなっていることは行政も認識しているが、これ以上の拡幅は出来ないで、スピードを抑える工夫や白線塗装をするなど安全対策をしっかり行っていくとの当局からの回答もある。本日の住民の方の意見を受けて、来年度以降の予算に反映されるように委員会の中でも話していきたい。町北・高野地区でも同じ話が出ているので、共同して要望を出していただければ効果的と思う。</p> <p>また、石堂地区の道路に関しては狭い旧道であるので、地区からの要望などを上げていただき、安全対策が進められるように我々も努めていきたい。</p>	○	③	後日調査し、事後報告する。 (事後処理報告書 P 5 に記載)	道路
<p>コミセンと住宅の間の水路の除草や土砂上げを地域の町内会で年に 1 回から 2 回は実施しているが、高齢化などのため地域作業では困難な状況になっている。行政で出来ないのか。</p> <p>元は農業用の用水路であったが、今は住宅街となっているので水路としての活用が無い状況で放置されている。</p>	<p>水路の管理は土地改良区であり、今は道路課と共に管理を行っている状況であるが十分には管理できない状況である。地域住民の方への除草などの協力は出来る範囲でお願いをしているので無理はしなくて良いと思う。</p> <p>水路管理はかつては地域住民の協力で実施してきた経過であるが、現在は地域では出来ない状況にある。水路の必要性を含めた整理・整備を進める時期と考えている。</p> <p>ご意見として聞き置く。</p>	○	①		用水路

○ 議会報告、市政全般について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
会津若松市に映画館がないので、映画館を作りたいとの要望がかつては多くあったが、現在の状況はどのようになっているのか聞きたい。	民間で映画館をつくる構想があり、その為の駐車場整備等の要望が市にあったがその後の動向はありません。現在は映画館の経営は難しい状況にあるのではないかとと思われる。 学校教育として、会津若松市の小中学校では映画から学ぶとの考えから学校等で映画を見る機会を作っている。	○	①		地域経済
神明通りのリオンドール跡地の活用はどのようになっているのか。	現時点での予定は無いと理解している。	○	①		中心市街地
会津若松市ではスプレー缶に穴をあけてのゴミ出しをすることとなっているが、高齢者等にとっては危険であるので、穴あけをしないゴミ出しを進めるべきではないか。他の地域では穴あけをしないで出しているところもある。 当地区では外で穴をあけて出しているので問題はなく、今までに事故や苦情はないと理解している。地区のほとんどは穴あけして出している。	ごみ収集車等の火災事故などもあり、スプレー缶をそのまま捨てることも問題がある。 当局のごみ出しに関する考え方や他の地域の事例を含めて報告する。	○	③	後日調査し、事後報告する。 (事後処理報告書P6に記載)	環境
意見交換会のあり方について、議会だよりの周知だけでは住民にあまり伝わらないので、回覧などでの周知も必要ではないのか。あまり住民が集まらないと意見も出にくいのである程度の人員は確保すべきではないか。	今はコロナ禍で人を集めることが困難な状況にあるものと考えられる。状況が変われば多くの人に参加できる意見交換の場になるように、周知方法などを考えながら多くの市民の方とともに意見交換をしていきたいと考えている。	●	①		意見交換会

市民との意見交換会・事後処理報告書

城北 地区

件名	処理（対応）内容	備考
<p>1. 幹 I - 6 号線の安全対策について (P 3)</p>	<p>【市民からの要望・質問】 幹 I - 6 号線の道路整備がなされ、交通量が増えスピードを出す車も多くなっている。危険を感じることもあるので、危険な状況を無くすための対策を市や警察で出来ないのか。また、幹 I - 6 号線の整備により荒久田地区の狭い道路にも車が入ってきて、通学路などが危険な状況になっているので対応をしてほしい。</p> <p>【事後処理結果】 （幹 I - 6 号線の安全対策について） 荒久田地区とも協議しており、対策の必要性は認識している。白線や横断歩道のラインをしっかり確認できるものとしたり、スピードを抑えるためのイメージハンプなどの整備を考えているところです。 石堂地区の狭い道が通学路となっているので、対策をする必要性は認識しており、今後、対策を考えていく予定でいます。 （道路課・まちづくり整備課からの回答）</p>	

市民との意見交換会・事後処理報告書

城北 地区

件名	処理（対応）内容	備考
<p>2. スプレー缶のごみ出しについて (P 4)</p>	<p>【市民からの要望・質問】 会津若松市ではスプレー缶に穴をあけてのゴミ出しをすることとなっているが、高齢者等にとっては危険であるので、穴あけをしないごみ出しを進めるべきではないか。他の地域では穴あけをしないで出しているところもある。</p> <p>【事後処理結果】 （市のスプレー缶のごみ出し方法は） 会津若松市では中身を空にして、缶に穴を開けてから「燃やせないごみ」へ出していただくようにしています。ガスが充填されたまま破碎処理されると、破裂や火災発生により、作業員や機械・施設が損傷する恐れがあります。実際に、環境センターでスプレー缶が爆発し、火災の発生と機械の損傷が発生しています。 （スプレー缶に穴あけが出来ない等の方については） 穴が開けられていないスプレー缶は、火災や破損の危険が有るため、ごみステーションに出さないようお願いしています。小さな力で容易に安全にガス抜きができる器具の使用や近所の方に穴あけを依頼することなどの対応を検討していただいています。 （穴あけをしないで、ごみとして出す自治体はあるのか。） 環境省によると、2016年時点で「穴あけをしない」で回収する自治体の割合は、人口50万人以上の都市においては71%、市町村全体では27%となっています。なお、この違いは、収集運搬や処理、処分の方法が異なるためであり、会津若松市の方法は、「スプレー缶の穴あけ」が必要です。 仮に穴あけをしないで収集する場合、環境センターにおいて、全品目のチェックと手作業の穴あけが必要となり、効率低下、経費の増加などが見込まれます。 （廃棄物対策課からの回答）</p>	